

チャレンジ! 1組

1年1組学級通信 第86号

～ 令和元年11月15日

発行者: 佐藤 健二

高崎市立佐野中学校

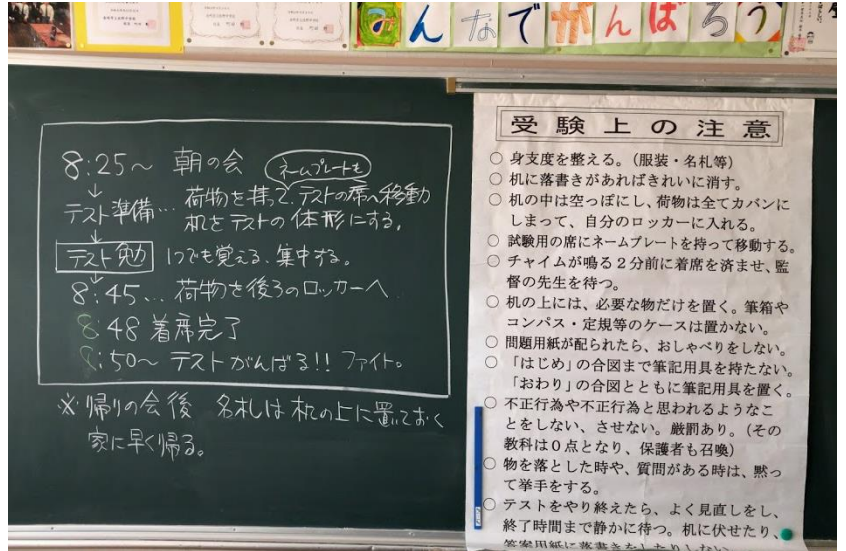


初めて1日留守にしましたが、みんなやるね!

期末テストの初日、私は1日佐野中を留守にしました。テストの日は、いつもとちょっと流れが違うので、前日に黒板に書いて、帰りの会でみんなにお願いして、休みを取りました。

開けて昨日、学校へ行ってみると、心配もまったくの取り越し苦労で、しっかりと生活できたとのこと。やりますね!

こういう時に本当の力が出るのです。昔、学校を1週間留守にしたことがあるのですが、その時に私の学級通信の師匠である山田暁生（やまだあきお）先生（故人）からメッセージをもらったことがあります（裏面掲載）。『親がいない時に子どもの力が見える』というのです。みなさんは、きっと家で一人である時も、しっかりと生活できているのでしょうか。



『親がいない時に子どもの力が見える』というのです。みなさんは、きっと家で一人である時も、しっかりと生活できているのでしょうか。

0君、さすがです!



昨日の1時間目は、我が1組で国語の試験監督をしていました。みんな、テストに集中してカリカリ、カリカリとシャーペンの芯の音が響く教室は良いですね。

そんな中、私に向かって1人の生徒の手がずっと挙がったのです。0君でした。

何だろう・・・と近づいて行くと、「先生、ポケットからティッシュをとってもいいですか?」という質問でした。さて、この質問をみなさんはどう思いますか? 「別に、先生に聞かなくても、取り出せばいいじゃん!」って思う人多いんじゃないでしょうか。0君は続けて言いました。「勝手にポケットに手を入れちゃいけないと思って」って。そうです。その通り! 0君の判断が正しいです。勝手に手をポケットに入れてはいけません。カンニングの疑いありと判断されてしまいますよ!!!

試験というのは、とても神経を使うものです。「机の中は空っぽにする」「試験前に机の落書きを消す」など毎回確認してテストを始めていますけれど、それも含めていろいろと神経を使いますね。

昨日の、私が監督の1時間目の間に注意したことは、

- ・テスト配布中にシャーペンを持ち注意された人が2人
- ・テストの問題用紙を、テストの最中に机の中に入れた生徒が2人
- ・机の中に朝読の図書が入っていた生徒が1人

でした。試験ももう数回を経験していますが、まだまだ神経の使い方が足りない人がいますよ。

<連絡> 来週の月曜から進路学習が始まります。総合ファイル（横浜校外学習で使った緑のやつ）を持って来ておきましょう。

親がいない時に子どもの力が見える

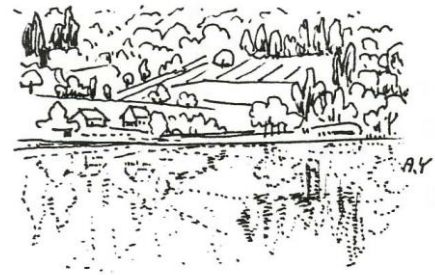
1組の皆さん、お元気ですか。と聞くまでもなく、皆さんの頑張りは東京の私の家からよく見えています。

と言うのも、「チャレンジ1組」を皆さんが読んでいた日には、私も佐藤先生からインターネットで送っていただいて読んでいたからです。

きょうの通信NO. 63号（1月26日発行）で佐藤先生が1週間クラスを空けられることを知りました。それと同時に、むかし自分も学級担任をしていた頃、1週間ほどクラスを留守にした時のことを思い出したのです。

世間では「親が留守の時に子どもは何をしているか、親の子育ての仕方もよく分かるが、子どもも日頃どんな力をつけているかよく分かる」と言われています。「親のいないうちに、この際、好き勝手なことをやっちゃえ！」という子どもなのか、「親がいない時だからこそ、自分たちだけでしっかりと守っていかなくちゃ」と、力を合わせてちゃんとやって行かかたで、子どもの力と値打ちが分かるのです。

親は「留守中にあの子どもたちはしっかりと家を守ってくれているか」と、よそへ行っていても気になり、気をもむものです。家にいて、子どもを目の前で見ていた方がよほど楽なんです。担任も同じで、「自分が留守をしている間に、面倒をみている他の先生たちに世話をやかせるようなことをしでかさなうか。できれば、『君らは佐藤先生がいない時の方がしっかりとしているね』と言われるような生徒たちであってほしい」と願っているのです。親の気持ちと全く同じです。



なぜ、そんなことを言うのかと言うと、私も27年間も学級担任をし、1200人もの生徒を担当してきた過去があり、そういう気持ちで過ごしてきたからです。

1週間ほどクラスを留守にし、学校に出てきた日に「うちのクラスの子たちどうでした？」と、真っ先に聞きましたら、「これ冗談だけど、山田さんが留守の方があの子どもたちはなかなかしっかりとやっていたよ。『他の先生たち、来なくてもまかせておいてください。ほくらでちゃんとやりますから』って、学級委員のKに言われちゃったよ」と、仲間の先生方に言われ、ホッとした思い出があります。クラスの生徒たちの力を知ってうれしかったですね。

佐藤先生の留守。この時がいいチャンスです！きみたち生徒の力を合わせ、発揮して、「担任がいなくても自分たちのクラスを自分たちでマネージできる」というクラスに高めて行ってほしいと思います。「チャレンジ1組」をいつも読んでいて、そんな力がきみたちに着きつつあります！

留守明けの1週間後に出される佐藤先生の「チャレンジ1組」に、すばらしいきみたちの自治の力が報告されることを東京の私も楽しみに待っています。

いつも「チャレンジ1組」をよく読んでいた東京の山田暁生より